

たちとちぎ

JA全農とちぎ 通信

2023

10

Vol.271



トピックス

エコープ商品 プレゼンと試食で魅力PR
 トマト苗の接ぎ木作業に挑戦
 野菜(8/31)の日イベント
 「ミナテラスとちぎ」とコラボ
 カゴメ那須工場の見学会を実施
 豊洲市場でとちぎの梨と野菜をPR!
 にっこり梨の目揃会を開催
 いちごゆめファーム 令和6年産いちご苗を定植
 令和5年度全体職員研修を開催
 栃木県共同募金会から感謝状が贈られました

CONTENTS

- ・自己改革の実践
 土壌診断の取り組み【コスト低減に向けて】
- ・お知らせ
 新米! 秋の栃木米キャンペーン開催中!
 下野新聞で広告連載はじめました
- ・簡単レシピ
 『ひじきと枝豆のデリ風サラダ』
- ・子牛市場情報
- ・JAタウンからのお知らせ
- ・行事予定
- ・編集後記



© 栃木県 とちぎく

JAグループ栃木/JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



土壌診断の取り組み [コスト低減に向けて]

土壌診断を行うことで、不足する養分を必要なだけ補うことや、余剰な成分を把握できます。

JA全農とちぎ・(株)JAグリーンとちぎは、土壌診断に基づいた適正な施肥を推進し、**作物の収量の安定や品質向上、施肥コストの低減**に取り組んでいます。

●土壌診断の取り組みについて

作物を健康に生育させるためには、土壌中の養分状態を作物ごとの適切な量に調節しつつ、他の成分とのバランスをとっていく必要があります。そのためには、土壌の不足する養分と過剰な養分を把握する「**土壌診断**」が必要です。

土壌診断は、生産者のニーズに合わせ、各コースを選択して分析を行うことが可能です。土壌だけでなく家畜ふんの「**堆肥分析**」も実施しており、より良い土づくりへ貢献します。

●測定項目に新登場「可給態窒素」

令和5年9月より、測定項目として新たに「**可給態窒素**」の測定が可能となりました。「可給態窒素」とは「地力窒素」とも呼ばれ、微生物の働きにより、水稻や作物に吸収利用される形態に変化する有機態の窒素のことで、土壌から作物へ緩やかに供給されます。

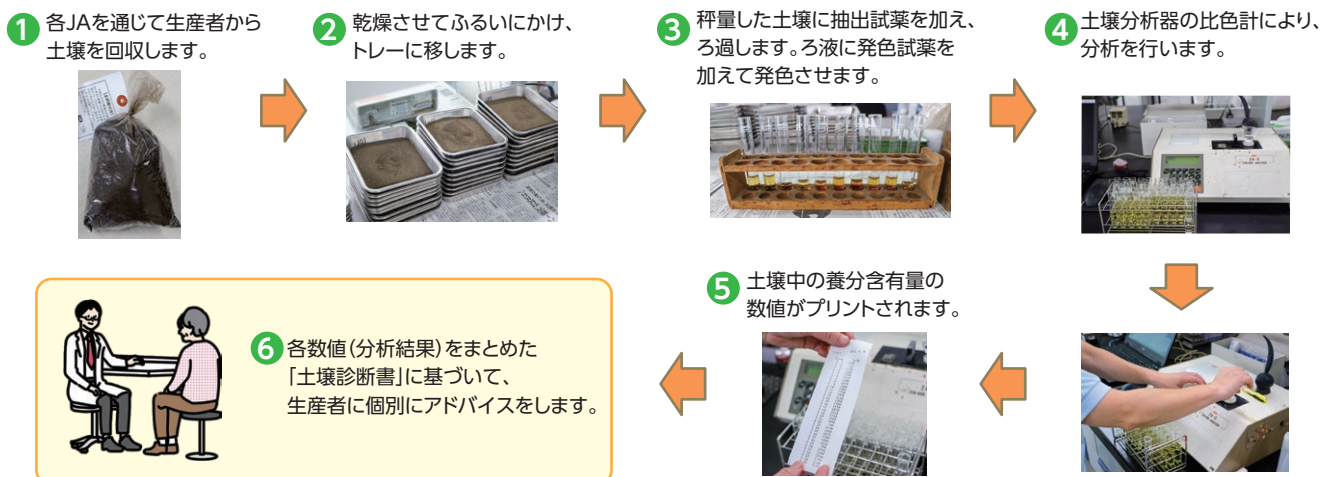
外から施用される窒素質肥料にくらべて、吸収利用されやすい特徴があります。特に水稻は、肥料から吸収する窒素と比べ、地力から吸収する窒素の割合が高いです。

「可給態窒素」を把握することで、肥料の使用量削減や作物品質の向上が期待できます！

項目 コース	pH	EC	硝酸	りん酸	石灰	苦土	加里	りん酸 吸収係数	CEC	けい酸	鉄	マンガン	ほう素	亜鉛	銅	NEW! 可給態窒素
麦	●			●												【●】
簡易	●	●	●													【●】
園芸	●	●	●	●	●	●	●	●	●							【●】
水稻	●			●	●	●	●	●	●	●	●					【●】
微量要素総合	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	【●】

項目 コース	水分	pH	EC	窒素 全量	りん酸 全量	加里 全量	炭素 全量	炭素 窒素比	亜鉛 全量	銅 全量	石灰 全量	苦土 全量	マンガン 全量	鉄 全量
牛ふん	●	●	●	●	●	●	●	●						
鶏ふん	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
豚ふん	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
堆肥総合	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

●土壌診断の流れ



エコープ商品 プレゼンと試食で魅力PR



「令和5年度 生活取扱商品研修会」を開催

全農本所くらし支援部栃木推進課は8月23日、全農栃木県本部生活ビルで、県内JAの直売担当者らを対象に「令和5年度 生活取扱商品研修会」を開きました。

当研修会は、第1部の座学と第2部の展示および試食会の2部構成で行われ、県内各JAから直売所の店長や営農経済センターの担当者、エコープマーク品を製造・販売するメーカー各社ら、計80名が参加しました。

第1部では、同部業務企画課から、JAグループ生活購買事業のプライベートブランド商品「エコープマーク品」について国産農畜産物の使用や安全性、環境配慮へのこだわりなどを説明、営業開発部営業企画課は全農ブランド「ニッポンエール商品」について、ブランドコンセプトや特徴を紹介しました。また、メーカー各社からは自社商品や会社の概要について紹介がありました。



エコープマーク品の説明の様子

第2部では、各社が商品の展示および試食会を開き、プレゼンをしながら試食を提供して魅力をPRしました。参加したJAの担当者は、試食やメモを取りつつ質問を行うなど、双方の意見交換の場にもなりました。



メーカー各社が自社商品の魅力をプレゼン



試食をしながら意見交換

今回ご参加いただいたメーカー各社と代表商品は以下の通り。

参加メーカー	代表商品	参加メーカー	代表商品
ハラダ製茶(株)	エコープ銘茶等	大興産業(株)	らっきょう酢等
厚生産業(株)	なす漬けの素、甘酒等	伊那食品工業(株)	ゼリーの素等
星野物産(株)	栃っ子うどん、もちもちミルクパン等	青源味噌(株)	農協味噌、辣油味噌オイル等
築野食品工業(株)	こめ油、米ぬかせっけん等	盛田(株)	JAつゆの素等

トマト苗の接ぎ木作業に挑戦



未来塾の研修生や農大の生徒らが作業を体験

本会園芸部は8月17日から9月8日までの期間、本会が運営する園芸種苗総合センターにおいてとちぎ農業未来塾の研修生や栃木県農業大学校の生徒らの受け入れを行いました。研修生らは事前に実践練習を含めて準備を行い、トマト苗の接ぎ木体験を行いました。

耐病性に優れた土台の苗(台木)に、別の個体の苗(穂木)をチューブでつなぎ合わせる「接ぎ木」という作業をすることで、生育障害の発生しづらい苗を作ることができます。

9月4日にはとちぎ農業未来塾の研修生4名が参加しました。研修生らは「接ぎ木作業は実際にやってみると忍耐がいる仕事だ」「細かい作業なので緊張する」と話し、終始真剣な様子で作業に取り組みました。



台木と穂木を丁寧に繋ぎ合わせる研修生

野菜 (8/31) の日イベント「ミナテラスとちぎ」とコラボ //



県産野菜使用の特別メニューをカフェで販売

園芸部は、8月31日の野菜（やさい）の日に合わせて、宇都宮市の「ミナテラスとちぎ」とコラボし、9月3日までの4日間限定で栃木県産野菜を使用した特別メニューを販売しました。

全国的にも野菜の消費量が年々減少している中、8月31日の野菜の日をきっかけとして多くの方に栃木の野菜を食べてもらい、美味しさを知ってもらうため、本イベントを実施しました。

期間内、ミナテラスとちぎの施設内にあるミナテラスカフェで「ベーコンとネギとにらとしめじの和風パスタ」、「なすとトマトとブロッコリーのカレー」など、キッズプレートやデリも含め計6品を提供しました。

合わせて、カフェの卓上や全農とちぎ公式Instagramで一部のレシピを公開し、家庭での消費拡大も狙いました。



県産ネギ、にら使用のパスタ 県産なす、トマト使用のカレー

カゴメ那須工場の見学会を実施 //



県内のジュース用トマト生産者が工場見学

営農販売企画部は9月6日、県内のジュース用トマト生産者を対象に、トマトジュースを生産しているカゴメ那須工場の見学会を実施しました。

工場見学では、集荷されてきたトマトが洗浄、選別、搾汁、充てん、最後には箱詰めされて出荷される状態になるまで、一連の流れを見学しました。参加した生産者の方々は「自分の作ったトマトがどのように使われているかを実際に見ることができると、つくるモチベーションになる」と話し、トマトジュースになる様子を熱心に見学していました。

見学後には振り返りと意見交換の場を設け、カゴメの担当者からは令和5年度の出荷総括や販売情勢の報告があり、本会からは次年度に向けた生産対策として、収穫時の労働力支援、水田転作の優良事例の共有など、収量拡大に向けた方針を示しました。

今後も、ジュース用トマト生産者の栽培及び収量確保に向けて産地支援を強化してまいります。



集合写真



熱心に見学する生産者



カゴメからの情報提供

豊洲市場でとちぎの梨と野菜をPR!



園芸部は9月8日、東京都中央卸売市場豊洲市場において、とちぎの梨となす・アスパラガス・ネギなどをはじめとした旬の夏野菜のPRを行いました。

当日は、現物展示や動画放映、豊水梨の試食提供などを行い、栃木県産青果物の魅力を仲卸や買参人へアピールしました。また、本会園芸部の荒井部長やとちぎフレッシュメイトがセリ前挨拶を行い、「とちぎの梨の品種リレーを繋いでいき、にっこり梨までしっかり出荷していく」「県産青果物の品質の良さを実感していただきたい」などと市場関係者へ呼びかけました。



挨拶をする荒井部長



市場関係者へ豊水梨の試食となすのサンプルを提供

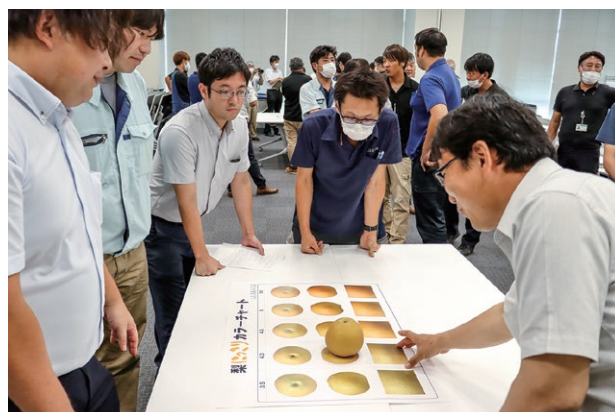
にっこり梨の目揃会を開催



園芸部は9月20日、「令和5年産とちぎにっこり梨統一目揃会」を開催し、各JAの梨部会長、市場関係者、県の担当者ら約50名が出席しました。

県からは、生育状況の報告と栽培管理について助言があり、「生育が例年より早いので、取り遅れに注意」などと呼びかけました。本会からは、競合品目を踏まえた梨の販売情勢について情報提供を行いました。

市場関係者からは「これから年末年始の需要期まで、しっかり計画を立てて売っていく」「カラーチャートを厳守し、高品質な梨を出荷してほしい」との意見がありました。



現物目揃えでカラーチャート4.0を確認

いちごゆめファーム 令和6年産いちご苗を定植



ハウス内で定植作業を行う様子

9月13日、本会のいちご実証栽培施設「いちごゆめファーム」で、令和6年産いちご「とちあいか」約6000本を定植しました。

定植には農業大学校いちご学科の研修生も参加し、本会職員から定植のポイントの指導を受けた研修生は「思っていた以上に辛かったが、やり甲斐がある。畝作りから一緒に作業をさせてもらっているので、定植が終わってホッとしている」と話しました。

クラウン冷却や液肥のチューブも設置して、今後はマルチ張りやミツバチの放飼を行い、11月中旬からの収穫に備えて日々の管理作業に励みます。

令和5年度全体職員研修を開催

本会は8月21日、「令和5年度全体職員研修」を行いました。本会の前身である栃木県経済農業協同組合連合会の創立記念日(8月19日)に合わせて毎年開催しています。

中村県本部長は「今一度、組織の存在意義を見つめなおし、『これからの全農は我々が作る』という強い気概を持つことが大切。経営理念をゆるぎない軸とし、農家組合員やJAの負託に応えられるよう、将来を見据えて果敢にチャレンジしていったほしい」と挨拶し、職員らを鼓舞しました。

研修の後半では、野球解説者で「千葉ロッテマリーンズ」スペシャルアドバイザーの里崎智也さんから「勝つためのリーダーシップとチームワーク」と題してご講演をいただき、野球人生で得たご自身の経験談を交え、内向きの考えを外向きにする思考術や人を育てるコミュニケーション手法についてお話がありました。

全体職員研修の最後には、本会職員の永年勤続表彰式が行われ、30年勤続10名、20年勤続2名が表彰されました。

永年勤続者は以下のとおり。(敬称略)

氏名	勤続年数	所属
杉山 昌史	30年	パールライス部
荒井 真一	30年	園芸部
鈴木 伸周	30年	株式会社JAグリーンとちぎ出向
宮内 昭之	30年	株式会社JAグリーンとちぎ出向
黒崎 一則	30年	園芸部
猪瀬 秀忠	30年	生産資材部
手塚 浩司	30年	畜産部 肉牛販売課
荒牧 俊夫	30年	管理部 総務課
瓦井 淳子	30年	管理部 総務課
浅野 博美	30年	パールライス部 パールライス業務課



里崎智也様



とちぎの星ととちぎ和牛を贈呈

氏名	勤続年数	所属
安野 徹	20年	パールライス部 パールライス製造課
多喜 寿史	20年	生産資材部 農機一体運営課 うつのみや広域農機センター



栃木県共同募金会から感謝状が贈られました



本会が毎年参加している「NHK歳末助け合い募金」活動で、多額の募金を寄付し、社会福祉の増進に貢献したとして、9月12日に栃木県共同募金会が来会し、中村県本部長へ感謝状が贈呈されました。

県本部職員・(株) ジェイエイ栃木ライフ・(株) JAグリーンとちぎ・(株) JAエルサポート社員らの協力で集まった約40万円の寄付金は、県内の児童養護施設、障害児入所施設などの社会福祉施設の利用者の支援、歳末事業に役立てられました。

同会の池田秀昭様からは「年末年始もコロナの影響で家族に会えない施設の利用者の方々がたくさんいる中、いただいた寄付金でささやかながらクリスマス会やお正月のお祝いができた。利用者にとって、非常に励みになった」との言葉をいただきました。

今後も引き続き、社会貢献活動に取り組んでまいります。



栃木県共同募金会の池田様(左)と中村県本部長(右)

お知らせ

新米！秋の栃木米キャンペーン開催中！

毎年恒例の新米キャンペーン、今年も開催しております！

今回のキャンペーンは、LINEとハガキを使って応募が可能で、合計360名様に豪華景品が当たるチャンスです！新米をお買い求めの際には、右のシールのついた商品をお買い上げいただき、キャンペーンにぜひご参加ください。

栃木の美味しい新米をもりもり食べて、どしどしご応募ください！



商品に貼付されているキャンペーンシール

キャンペーン概要

- **対象商品**
栃木県産コシヒカリ・なすひかり・とちぎの星・あさひの夢など(各商品5kg、10kg)
- **応募締切**
2024年1月5日(金)まで(※対象商品は9月1日(金)より順次販売)
- **応募方法 (LINE)**
対象商品に貼付してあるシールのQRコードから【本会公式LINE:たちつてとちぎbyJA全農とちぎ】を友達登録し、U字工事が目印のリッチメニューをタップし応募が可能です。ご購入いただいたレシートと精米の写真・ご希望の賞品・年齢・性別・お住まいの都道府県・お買い上げ店名等ご記入の上、ご応募ください。
※なお、ハガキからのご応募の場合は、本誌裏表紙をご覧ください。
- **賞品**
S賞…BRUNOコンパクトホットプレートフルセット 10名
A賞…とちぎ和牛ハンバーグ(160g×5枚) 50名
B賞…ギフトカード(商品券)3000円分 300名
合計360名



店頭ではこちらのキャンペーンポップを目印に！

公式LINEアカウント

たちつてとちぎ
by JA全農とちぎ



お知らせ

下野新聞で広告連載はじめました

2023年9月～2024年1月まで、下野新聞3面にて全6回の広告連載を行い、本会のSDGsに関する取り組み・環境に配慮した取り組みをご紹介します。

『栃木県本部2030年ビジョン』にも環境保全型農業の推進を掲げ、「環境負荷低減」と「収益性の向上」を両立する持続可能な農業生産の実現に向けた取り組みを進めている中で、これらの取り組みを「見える化」し、広く県内読者に訴求していきます。

合わせて、県産農畜産物の消費拡大を図るため、各イベント・キャンペーンのお知らせや、「JAタウン」を活用した旬の農畜産物の読者プレゼント企画も実施しています。

皆様ぜひご一読ください！

第1回：9月1日(金)掲載紙面



第2回：9月29日(金)掲載紙面



今後の掲載予定

第3回：10月27日(金)

第4回：11月24日(金)

第5回：12月22日(金)

第6回：1月19日(金)

簡単レシピ

ひじきと枝豆のデリ風サラダ



ポイント！



栃木推進課 管理栄養士
松原舞子さん

レンコンに豊富に含まれるビタミンCにはメラニンの生成を抑え、シミやそばかすを予防する効果があります。同時に免疫力を高める効果があり、風邪の予防も期待できます。

(アドバイス表2022年10月魚コースP15)

〈材料〉(2人分)

- ・乾燥ひじき.....5g
- ・冷凍えだ豆.....50g
- ・れんこん(薄切り).....1/2節
- ・人参(千切り).....3cm
- ・マヨネーズ.....大さじ2
- ・白すりごま.....大さじ1
- ④ しょうゆ.....小さじ1
- ・酢・和風だしの素.....小さじ1/2
- ・砂糖.....ひとつまみ
- ・塩・こしょう.....少々

■作り方■

- ① ひじきはたっぷりの水で戻し、さっと茹でて水気を絞る。えだ豆は解凍してさやから出す。れんこんと人参は熱湯で茹でてザルにあげ、水気を切って冷ます。
- ② ボウルに④を入れて混ぜ合せ、①を加えて全体を和える。

ふれあい食材についてはこちらから！





子牛市場情報

令和5年度9月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	161	159	1,105,500	225,500	527,882	290(295)	1,814	23,950
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	235	234	995,500	255,200	665,091	323(292)	2,052	-15,445
	合計	396	393	1,105,500	225,500	609,579	310(293)	1,962	9,275
2日	雌	192	186	878,900	165,000	505,556	294(295)	1,714	-22,031
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	197	191	1,081,300	243,100	602,609	326(293)	1,845	-97,016
	合計	389	377	1,081,300	165,000	554,726	310(294)	1,784	-62,485
9月期合計	雌	353	345	1,105,500	165,000	515,845	293(295)	1,760	581
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	432	425	1,081,300	243,100	637,011	325(293)	1,959	-52,197
	合計	785	770	1,105,500	165,000	582,722	310(294)	1,875	-25,458
概況	9月の矢板家畜市場は、785頭上場にて770頭が成立し、前年同月比37頭増となりました。平均価格は対前月比雌581円高、去勢52,197円安となりました。雌・去勢共に上下価格差のある取引で、前月に比べ値を下げた展開となりました。 購買者数 1日目：160人 2日目：148人								

○次回開催/2023年10月2日～3日 出場予定:各350頭(2023年11月の開催は、1日・2日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



季節商品のご紹介

「にっこり梨」

食べてにっこり♪にっこり梨の販売がスタートいたします！大きさもちろんながら、繊細な甘さにもびっくりすると思います♪

じっくり樹上で育ったジューシーなおいしさを是非、味わってみてください！

他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪

JAタウン



とちぎ新鮮倉庫

検索

国消国産月間

10月の行事

- 2日(月) 矢板子牛市場 畜産部
- 3日(火) 矢板子牛市場 畜産部
- 7日(土) エーコープ稲刈りツアー 米麦部
- 12日(木) 銘柄牛懇談会 畜産部
- 13日(金) 銘柄牛共励会 畜産部
- 16日(月) 国消国産の日
- 23日(月) 栃木米CM発表会 米麦部



★20日(金) CRT栃木放送(7:33～)

★4日・11日・18日・25日(水) RADIO BERRY(17:15～)

編集後記

10月に入りました。だんだんと涼しくなってきた秋を感じますね。夏の厳しい猛暑が過ぎて、とりあえずホッとしています。

秋は過ごしやすい気温で、食べ物も美味しく、ハロウィン、紅葉などのイベントも多く、楽しいことがたくさんです。最近はお栗ごはんを食べるため、手を痛めながら栗の皮むきに励む日々です。(ミウ)

画像はイメージです。

つやつやで
♪ごめんね～

令和5年
キャンペーン
栃木米

うますぎて
♪ごめんね～

新米

合計360名様に
当たる!

S賞

コンパクトホットプレート
ブルーノフルセット



BRUNO

10名様

LINEとハガキで応募可能!

応募
締切

2024年1月5日(金)

※ハガキは当日消印有効 ※LINE応募は締切日23:59まで

選べる応募方法

LINE
から

レシートを
撮影して応募

ハガキ
から

レシートを
貼って応募

LINEでご応募の場合は
こちらから



A賞

とちぎ和牛ハンバーグ
160g×5枚



50名様

B賞

全国共通
商品券 3,000円分



300名様

ハガキからの
ご応募の方

●応募方法

対象商品を購入したレシート1枚を一口として応募ハガキ又は郵便ハガキに貼り、
ご希望の賞・氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号・お買い上げ店名をご記入のうえ、ご応募ください。

●応募先

〒329-0607 栃木県河内郡上三川町西汗1780 新米キャンペーン事務局 宛



JAグループ栃木 / JA全農とちぎ



この印刷物は環境にやさしい植物油
インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。